

MeFt V10.0.0



リリース情報

Windows

B1WD-1531-04Z0(00)
2010年10月

まえがき

マニュアルの目的

本書は、Windowsシステムのもとで動作するソフトウェア MeFt(Message editing Facile tool)の本版数で追加された機能の概要、および互換に関する情報についての説明書です。

本書の構成

本書の構成と内容は以下のとおりです。

第1章 追加機能の概要

MeFtの各版数で追加された機能の概要について説明しています。

第2章 互換に関する情報

MeFtの旧版数からの移行、旧OS版数からの移行、およびItanium版での注意事項について説明しています。

第3章 プログラム修正一覧

本版数で修正されたプログラム障害の内容について説明しています。

表記について

MeFtマニュアルでは、次に示すマニュアル名称および略称を使用しています。

マニュアル名称

- マニュアル中で、自身を参照する場合は、「本マニュアル」と記述します。
- マニュアル名称を記述する場合、マニュアル名の先頭の製品名は省略する場合があります。

略称

正式名称	略称
Windows® 7 Home Premium Windows® 7 Professional Windows® 7 Enterprise Windows® 7 Ultimate	Windows® 7
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Foundation	Windows Server® 2008 R2 または、 Windows Server® 2008 x64
Microsoft® Windows Server® 2008 for Itanium-Based Systems	Windows Server® 2008(Itanium)
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (x64) Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™ (x64) Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (x64) Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™ (x64) Microsoft® Windows Server® 2008 Foundation	Windows Server® 2008 x64
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™ Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™	Windows Server® 2008
Windows Vista® Home Basic Windows Vista® Home Premium Windows Vista® Business Windows Vista® Enterprise Windows Vista® Ultimate	Windows Vista®

正式名称	略称
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition for Itanium-based Systems Microsoft® Windows Server® 2003, Datacenter Edition for Itanium-based Systems	Windows Server® 2003(Itanium)
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition	Windows Server® 2003 x64
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition	Windows Server® 2003
Microsoft® Windows® XP Professional operating system Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system	Windows® XP
Microsoft® Windows® 2000 Server Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows® 2000
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows® Me
Microsoft® Windows® 98 operating system	Windows® 98
Microsoft® Windows® 95 operating system	Windows® 95
Microsoft® Visual Basic® V4.0 Microsoft® Visual Basic® V5.0 Microsoft® Visual Basic® V6.0	Visual Basic

- ・ 次の製品について区別せずに指す場合は、「Windows」と表記しています。

Windows® 7 Home Premium

Windows® 7 Professional

Windows® 7 Enterprise

Windows® 7 Ultimate

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Foundation

Microsoft® Windows Server® 2008 for Itanium-Based Systems

Microsoft® Windows Server® 2008 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™

Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise

Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™

Microsoft® Windows Server® 2008 Foundation

Windows Vista® Home Basic

Windows Vista® Home Premium

Windows Vista® Business

Windows Vista® Enterprise

Windows Vista® Ultimate

Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition for Itanium-based Systems

Microsoft® Windows Server® 2003, Datacenter Edition for Itanium-based Systems

Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition

Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition

Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition

Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition

Microsoft® Windows® XP Professional operating system
 Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system
 Microsoft® Windows® 2000 Server
 Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server
 Microsoft® Windows® 2000 Professional

マニュアル体系と読み方

マニュアル体系と読み方

MeFtマニュアルは、以下の表を参考に目的・用途に合わせてお読みください。

目的・用途	マニュアル名称	記載内容	主な記載項目	読み方
追加された機能を知る。	リリース情報 (本書)	各版数で追加された機能を記載しています。	追加機能概要	製品の導入前に、追加された機能の概要を知りたいときにお読みください。
各機能の使い方を知る。	ユーザーズガイド	MeFtの機能の使い方を記載しています。	機能説明 コマンドリファレンス	製品の導入時に、機能を知りたいとき、お読みください。 アプリケーション開発時、コマンドリファレンスを知りたいときにお読みください。
通知されるメッセージを知る。	メッセージ集	帳票出力時に通知されるメッセージを記載しています。	メッセージ内容	製品導入時、運用時に通知されるメッセージの内容およびその対処方法を知りたいときにお読みください。

関連マニュアル

MeFtマニュアルを利用する際には、Windowsのマニュアル、および以下のマニュアルも併せてご利用ください。

- 画面帳票定義体作成時
Windows®版FORM V3.0以降のマニュアル
- C言語の利用者プログラム開発時
Microsoft® Visual C++® V6.0 SP4のマニュアル
Microsoft® Visual Studio 2005 SP1のマニュアル
Microsoft® Visual Studio 2008 SP1のマニュアル
Microsoft® Visual Studio 2010のマニュアル
- Visual Basicで利用者プログラム開発時
Microsoft® Visual Basic® V4.0のマニュアル
Microsoft® Visual Basic® V5.0のマニュアル
Microsoft® Visual Basic® V6.0のマニュアル
- COBOL言語の利用者プログラム開発時
Windows®版COBOL85 使用手引書
Windows®版COBOL97 使用手引書
NetCOBOL for Windows 使用手引書
Windows®版COBOL 文法書
NetCOBOL 使用手引書

- EBCDICおよびJEFコードのデータを扱う利用者プログラム開発時
NetCOBOL JEFオプション 解説書
- XMLデータを扱う利用者プログラム開発時
NetCOBOL XMLオプション 解説書
- 多目的プリンタ機能使用時
多目的プリンタおよび、多目的プリンタドライバのマニュアル
- JEF拡張漢字サポート使用時
JEF拡張漢字サポートのマニュアル
- コード変換を使用した運用時
Interstage Charset Managerのマニュアル
- 帳票の電子化(電子帳票保存)時
Interstage List Worksのマニュアル
- 帳票の電子化(PDF出力)時
Interstage List Creatorのマニュアル

輸出管理規制について

本ドキュメントを輸出または提供する場合は、外国為替および外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Server および Windows Vista は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の会社名または製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

お願い

本書を無断で他に転載しないようお願いいたします。

本書は予告なしに変更されることがあります。

著作権

2010年10月

Copyright 1992-2010 FUJITSU LIMITED

目次

第1章 追加機能の概要.....	1
1.1 V10.0.0Cにおける機能追加.....	1
1.2 V10.0.0Bにおける機能追加.....	1
1.3 V10.0.0Aにおける機能追加.....	1
1.4 V10.0.0における機能追加.....	1
1.5 V9.0L20における機能追加.....	1
1.6 V9.0L10における機能追加.....	1
1.7 V8.0L10における機能追加.....	2
1.8 V7.2L10における機能追加.....	2
1.9 V7.0L10における機能追加.....	3
1.10 V6.1L21における機能追加.....	3
1.11 V6.1L20における機能追加.....	4
1.12 V6.1L10における機能追加.....	4
1.13 V6.0L10における機能追加.....	4
1.14 V5.0L10における機能追加.....	5
1.15 V4.0L20における機能追加.....	5
第2章 互換に関する情報.....	7
2.1 旧版数からの移行時の注意事項.....	7
2.2 旧版数OS製品からの移行時の注意事項.....	8
2.3 Itanium版での注意事項.....	8
第3章 プログラム修正一覧.....	11
3.1 画面機能.....	11
3.2 印刷機能.....	12

第1章 追加機能の概要

この章では、MeFtの各版数で追加された機能の概要について説明します。

1.1 V10.0.0Cにおける機能追加

MeFt V10.0.0BからMeFt V10.0.0Cへは障害修正のみのため、機能追加はありません。

1.2 V10.0.0Bにおける機能追加

ここでは、MeFt V10.0.0AからMeFt V10.0.0Bへの機能追加について説明します。

- Windows® 7 および Windows Server® 2008 R2 上で動作が可能になりました。

1.3 V10.0.0Aにおける機能追加

MeFt V10.0.0からMeFt V10.0.0Aへは障害修正のみのため、機能追加はありません。

1.4 V10.0.0における機能追加

ここでは、MeFt V9.0L20およびMeFt V9.0L10(Itanium版)からMeFt V10.0.0への機能追加について説明します。

- Windows Server® 2003(Itanium)およびWindows Server® 2008(Itanium)上でバーコードが印刷できるようになりました。
- Windows Server® 2008(Itanium)上でプリンタへの出力時にJIS X0208:1990、JIS X0213:2004のいずれの字形で出力するかを指定できるようになりました。
- JIS X0213:2004で追加されたUnicodeの0面以外の文字が印刷できるようになりました。
- 指定できる給紙口名を24バイトから24文字に拡張しました。
- 矩形日本語項目で改行コード機能を指定できるようになりました。
- トレースログの採取が可能となりました。
- 印刷機能使用時に出力エラーを検出した場合、イベントログを出力できるようになりました。

1.5 V9.0L20における機能追加

ここでは、MeFt V9.0L10からMeFt V9.0L20への機能追加について説明します。

- プリンタへの出力時にJIS X0208:1990、JIS X0213:2004のいずれの字形で出力するかを指定できるようになりました。

1.6 V9.0L10における機能追加

ここでは、MeFt V8.0L10からMeFt V9.0L10への機能追加について説明します。

- 製品版「OCR-Bフォント for Windows」のOCR-Bフォントで印刷できるようになりました。
- ウィンドウがアクティブになってからシフト状態を再設定するまでの時間を指定できるようになりました。

- 入力処理中以外でのキー入力の有効／無効を指定できるようになりました。
- 日付項目の日付を任意の日付で出力できるようになりました。
- EAN-128(コンビニエンスストア向け)バーコードの各バー幅を補正するドット数を指定できるようになりました。
- EAN-128(コンビニエンスストア向け)バーコードをイメージとして出力するか否かを指定できるようになりました。

1.7 V8.0L10における機能追加

ここでは、MeFt V7.2L10からMeFt V8.0L10への機能追加について説明します。

- フリーフレーム形式の印刷が行えるようになりました。
- 文字ピッチ(帳票定義体)に20/3CPI(1.5ピッチ)が指定できるようになりました。
- 文字の向き(帳票定義体)に上下左右が指定できるようになりました。
- 矩形項目の文字ピッチや行の高さを自動で縮小、または矩形項目の縦幅を自動で拡張して、矩形項目に出力したデータをすべて印字できるようになりました。
- 矩形項目に禁則処理が指定できるようになりました。
- 組込みメディア項目に「メディアデータの解像度で出力」が指定できるようになりました。
- PDF出力で、画像ファイルをメディアデータの解像度で出力できるようになりました。
- 解像度情報を持たない画像ファイルに解像度を指定できるようになりました。
- 電子帳票保存で出力可能なバーコード種を追加しました。
- CODE 3 OF 9(EIAJ準拠)バーコードが印刷できるようになりました。
- 帳票定義体の数字項目に編集パターンを追加しました。
- 帳票定義体の数字項目で小数部の編集形式を指定できるようになりました。
- 帳票定義体の数字項目で通貨記号を複数バイトで指定できるようになりました。
- 画像が透過で印刷できるようになりました。
- 組込みメディア項目の出力でGIFの指定ができるようになりました。
- 組込みメディア項目の出力でLZW圧縮形式のTIFFが出力できるようになりました。
- 印刷プレビュー機能に初期表示倍率を指定できるようになりました。
- 印刷プレビューの罫線の可視性が向上しました。
- CODE128のチェックキャラクタの下部文字を印字抑止できるようになりました。
- Unicodeの全角／半角判定で使用するテーブルを指定・カスタマイズできるようになりました。
- Unicodeの全角／日本語出力でのフォントチェックを指定できるようになりました。
- PDF出力で、組込みメディア項目にPNGの指定ができるようになりました。
- プリンタドライバの設定で両面印刷できるようになりました。
- 縦／横の解像度が異なるプリンタへの印刷に対応しました。
- 画面機能において、ホイール付きマウスのホイール操作で上下スクロールを行うことができるようになりました。

1.8 V7.2L10における機能追加

ここでは、MeFt V7.0L10からMeFt V7.2L10への機能追加について説明します。

- 背景色、網がけを動的に変更することができるようになりました。
- EAN-128(コンビニエンスストア向け)のバーコードが印刷できるようになりました。
- KOL5オーバレイを品質重視モードで印刷できるようになりました。
- 組み込みメディア項目の出力で、デジタルカメラで使用されているExif規格のJPEG画像ファイルも指定できるようになりました。
- PDF出力で保存可能なバーコード種を追加しました。
- ウィンドウの自動アクティブ化が可能になりました。
- ウィンドウセンタリングをすることができるようになりました。
- FMV-KB101で前後タブキーを使用できるようになりました。
- QR Codeの有効データ長指定をプリンタ情報ファイルで指定できるようになりました。
- コンパクト印刷の均等出力指定をプリンタ情報ファイルで指定できるようになりました。
- 綴じ代幅制御指定をプリンタ情報ファイルで指定できるようになりました。
- オーバレイ出力位置とサイズの整合をプリンタ情報ファイルで指定できるようになりました。

1.9 V7.0L10における機能追加

ここでは、MeFt V6.1L21からMeFt V7.0L10への機能追加について説明します。

- 小数点文字を抑止する指定ができます。
- 定義体で項目に対しての抹消線が指定可能になりました。
- チェックボックス、ラジオボタンの印刷が可能になりました。
- XMLデータの入出力が行えるようになりました。
- プリンタに印刷していた内容を、画面上に表示することが出来るようになりました。
- 組み込みメディア項目の出力でPNGの指定ができるようになりました。
- 定義体でバーコードのキャラクタ間ギャップ幅(文字と文字のすき間)、細バー(エレメント)と太バー(エレメント)の幅の比率およびクワイエットゾーン(バーコード左右の余白)の描画方法を指定できるようになりました。
- 2次元バーコードのQR Code(モデル1)、QR Code(モデル2)が使用できるようになりました。
- 磁気カードリーダーからのデータ入力ができるようになりました。
- HOME/ENDキーで項目内のカーソル移動ができるようになりました。
- 印刷ダイアログボックスの表示をプリンタ情報ファイルで指定できるようになりました。
- CODE128、EAN-128の有効データ長指定をプリンタ情報ファイルで指定できるようになりました。

1.10 V6.1L21における機能追加

ここでは、MeFt V6.1L20からMeFt V6.1L21への機能追加について説明します。

- Windows® XP上で動作が可能になりました。
- 組み込みメディア項目の出力で、拡張DCT方式(プログレッシブJPEG)のJPEG画像ファイルを指定できるようになりました。

1.11 V6.1L20における機能追加

ここでは、MeFt V6.1L10からMeFt V6.1L20への機能追加について説明します。

- ・ 組込みメディア項目の出力でTIFFの指定ができるようになりました。
- ・ 立体枠を装着しない場合に、ウィンドウサイズに立体枠の分は含めない指定ができるようになりました。

1.12 V6.1L10における機能追加

ここでは、MeFt V6.0L10からMeFt V6.1L10への機能追加について説明します。

- ・ ウィンドウ情報ファイルおよびプリンタ情報ファイルの有効値確認ができるようになりました。
- ・ 空白データ通知をする場合でもデータの後ろの空白を削除しなくてもデータ挿入できるようになりました。
- ・ 【項目脱出】キーでデータを削除する項目種別を指定できるようになりました。
- ・ 左詰め項目の先頭桁文字入力時の項目をクリアする項目種別を指定できるようになりました。
- ・ 印刷ダイアログボックス設定印刷で印刷をキャンセルできるようになりました。
- ・ CODE128、EAN-128、UPC-A、UPC-E、EAN-13、U.S. POSTNET、U.S. Postal FIMのバーコードが印刷できるようになりました。
- ・ e-DocGeneratorと連携することにより、MeFt経由の印刷帳票をPDF化できるようになりました。

1.13 V6.0L10における機能追加

ここでは、MeFt V5.0L10からMeFt V6.0L10への機能追加について説明します。

- ・ COBOLからMeFtを使用する利用者プログラムの文字コードにUnicodeの指定ができるようになりました。
- ・ 項目のカーソル獲得が指定できるようになりました。
- ・ 組込みメディア項目の出力でJPEGの指定ができるようになりました。
- ・ JEF拡張漢字サポートを使用するとき、JEFゴシックフォントを指定できるようになりました。
- ・ 印刷形式に段組み印刷、コンパクト印刷が指定できるようになりました。
- ・ プリンタ振り分け機能が指定できるようになりました。
- ・ プログラムインタフェースで印刷キャンセル処理が指定できるようになりました。
- ・ 電子帳票保存が行えるようになりました。
- ・ バーコードのキャラクタ間ギャップ幅(文字と文字のすき間)、細バー(エレメント)と太バー(エレメント)の幅の比率およびクワイエットゾーン(バーコード左右の余白)の描画方法を指定できるようになりました。
- ・ メディアを出力する際の画像の解像度をディスプレイ解像度で出力するか、プリンタ解像度で出力するか、画像データの解像度で出力するかを指定できるようになりました。
- ・ 明朝体、ゴシック体のフォントフェイス名を指定できるようになりました。
- ・ コード変換できない文字コードの置き換えが指定できるようになりました。
- ・ VSPプリンタへの印刷時に装置解像度指定で行うかを指定できるようになりました。
- ・ プリンタ情報ファイルおよびウィンドウ情報ファイルで、情報ファイルの取り込みを指定できるようになりました。
- ・ 印刷する用紙の縦サイズを1/10ミリ単位で指定できるようになりました。
- ・ 印刷する用紙の横サイズを1/10ミリ単位で指定できるようになりました。
- ・ 指定した用紙範囲に縮小して印刷するかどうかを指定できるようになりました。

- ・ 連帳印刷時の改ページ単位を指定できるようになりました。
- ・ 出力矩形項目でワードラップ機能および改行コード機能を指定できるようになりました。

1.14 V5.0L10における機能追加

ここでは、MeFt V4.0L20からMeFt V5.0L10への機能追加について説明します。

- ・ パスワード入力を指定できるようになりました。
- ・ クリップボード連携の削除操作が行えるようになりました。
- ・ クリップボード連携の切り取り操作が行えるようになりました。
- ・ ベースウィンドウのクライアント域(定義体表示域)に立体枠を装着するかどうかを指定できるようになりました。
- ・ 符号付き数字項目の省略時埋め込みで、符号部を正符号で埋め込むか、埋め込む文字をそのまま埋め込むかを指定できるようになりました。
- ・ 英数シフト(英大/英小)設定時の英大/英小復元制御を行うかどうかを指定できるようになりました。
- ・ 日付の西暦下2桁をゼロ抑制するかどうかを指定できるようになりました。
- ・ 数値編集で負の数表示編集形式の指定ができるようになりました。
- ・ 組込みメディア項目の出力でJPEGの指定ができるようになりました。
- ・ 矩形項目の指定ができるようになりました。
- ・ 罫線・網がけを品質重視で印刷するか、速度重視で印刷するかを指定できるようになりました。
- ・ 機種依存オーバーレイを使用するかどうかを指定できるようになりました。
- ・ 以下の通知コードが追加されました。
 - 【9E】MEFP_RC_DDOVLLD
 - 【9F】MEFP_RC_NODDOVL

1.15 V4.0L20における機能追加

ここでは、MeFt V4.0L10からMeFt V4.0L20への機能追加について説明します。

- ・ 帳票定義体の形式が追加になりました。また、画面定義体のエラー処理属性、選択処理属性の点滅が指定できるようになりました。
- ・ プリンタ情報ファイルのJALIGNの設定値に「下端合わせ・左」、「上端合わせ・左」を指定できるようになりました。
- ・ 環境変数MEFTDLG(印刷実行時に印刷ダイアログボックスを表示する)を追加しました。
- ・ BLINK(点滅表示)を指定できるようになりました。
- ・ KEYDEF /XFxx/(拡張ファンクションキー割り付け)を指定できるようになりました。
- ・ 線端の形および線パターンを指定できるようになりました。
- ・ 集団印刷ができるようになりました。
- ・ プリンタ情報ファイルを対話形式で作成および更新できるようになりました。
- ・ VSPプリンタへの印刷で、ハード性能を生かすための帳票定義体等の注意事項を記載しました。
- ・ 段組み伝票形式、タックシール形式、ページ形式の印刷が行えるようになりました。
- ・ 段組み伝票形式、タックシール形式の印刷で、出力開始位置および出力終了位置の指定を行えるようになりました。

- カーソルが選択群内の項目上にあるときのカーソル移動キーでの項目間カーソル移動時に、カーソルが選択群外へ脱出するかどうかを指定できるようになりました。
- 右詰め入力項目で、挿入キーによる上書きモードへの切り替えを抑止するかどうかを指定できるようになりました。
- 使用するキーボードに合わせ、キーボードモードを指定できるようになりました。
- 入力対象がない入力時、無効としたい完了キーを指定できるようになりました。
- 検査指定なしの日本語項目での日本語入力時の入力通知で『空白』ではなく『N』を通知するかどうかを指定できるようになりました。
- 変更通知入力で、入力省略した場合、データ非変更であれば、省略時埋め込み文字を通知するかどうかを指定できるようになりました。
- 日本語項目や混在項目への入力で、エラーデータを入力した場合、レコードデータに空白を埋め込むかどうかを指定できるようになりました。
- 入力必須項目での入力省略のエラー再試行時、省略埋め込み文字を表示するかどうかを指定できるようになりました。
- 出力処理での、選択状態の設定または解除指定を有効とするかどうかを指定できるようになりました。
- エラー再試行時、カーソルをエラー項目上に表示するかどうかを指定できるようになりました。
- 符号付き数字項目で、出力データが負の値を示す外部10進数で絶対値が省略時埋め込み文字と一致する場合、当該外部10進数を省略時埋め込み文字とみなして編集出力するかどうかを指定できるようになりました。
- エラー再試行指定のある定義体に対する入力で、完了時のデータチェックでエラーが存在した場合、エラーデータを一度レコードデータ領域に格納するかどうかを指定できるようになりました。
- 入力強調、エラー強調および選択強調属性設定時に強調属性の解除指定を有効とするかどうかを指定できるようになりました。

第2章 互換に関する情報

この章では、旧版数製品、旧版数OSからの移行、およびItanium版での注意事項について説明します。

2.1 旧版数からの移行時の注意事項

ここでは、MeFtの旧版数製品から、本版数へ移行した際の注意事項について記載します。

1. 旧版数製品(基本的には16ビット版)から移行し、ウィンドウ情報ファイルおよびプリンタ情報ファイルに以下のキーワードを使用している場合、そのキーワードを削除してください。これらのキーワードは使用していても意味を持たないか、または動作に悪影響を与えることがあります。
 - PRECNT
 - PARAAC
 - PRTDEV
 - PRTNAME

プリンタ情報ファイルのPRTDEVとPRTNAMEの指定はPRTDRVに変更してください。16ビット版で指定したPRTDEVとPRTNAMEを使用した場合の動作は保証できません。
2. 16ビット版で指定したps_set_format()は、ps_set_formatsize()を使用してください。
3. 項目領域長に文字列がおさまらない場合、V4.0以前では、すべての文字が出力されない場合があります。V5.0以降では、すべての文字が出力されるようになります。ただし、文字の幅が項目領域長におさまらないような条件の場合は、旧バージョンと同様出力されません。
4. V5.0以降では、罫線や網がけの印刷をした場合、V4.0以前と出力結果が変わることがあります。旧バージョンと同一にする場合は、プリンタ情報ファイルのQUALITYPRT(罫線・網がけ制御指定)に「速度重視」を指定してください。しかし、罫線や網がけの指定によっては、「速度重視」が有効にならずV4.0以前と同一の出力結果にならないことがあります。「速度重視」が有効にならない条件は、QUALITYPRT(罫線・網がけ制御指定)の注意事項を参照してください。
5. 読み込み時にコード変換が発生し、変換できない文字があった場合、V4.0以前では'・'または'_'(空白)で印刷されていました。V5.0では'?'で印刷されます。V6.0以降では、コード変換できない文字は、全角の場合は全角の'_'に、半角の場合は半角の'_'になります。ただし、置換する文字を、プリンタ情報ファイルのREPKANJI(置換漢字文字指定)、REPANK(置換ANK文字指定)で指定できます。
6. 圧縮で文字ピッチを省略した場合に、V4.0以前では項目領域長に対して文字列長が短く印刷される場合があります。V5.0以降では、項目領域長と同じ文字列長で印刷されます。
7. V5.0以降では、帳票定義体の場合に、プリンタ情報ファイルのJALIGN(文字出力の位置補正)の"UC"および"UL"の指定は無効になります。
8. V5.0以降では、パーティション形式の印刷でプリンタヘッド位置よりパーティション開始位置が上の条件になった場合、改ページ処理が発生します。

9. 定義体の場合に、1行目に定義した文字が正しい位置に印刷されない場合があります。V6.0以降から、正しい位置に印刷されます。ただし、用紙の上端に項目を定義している場合は、システムが採用するフォントのサイズにより、出力する文字が用紙の上端を超えることがあります。その場合、文字が出力されないことがありますので、注意が必要です。
10. 帳票を電子保存する場合、以下の相違があります。
 - － V7.2以降では、帳票に指定した拡大/縮小指定が有効となります。
このため、拡大/縮小を指定した帳票を出力した場合、V7.0以前での出力結果と相違が生じることがあります。この場合は、帳票の拡大/縮小の指定を行わないでください。
 - － V7.2以降ではV7.0以前と比較して、画面帳票定義体を使用した場合は1/1440インチ、帳票定義体を使用した場合は2/1440インチ、上方に出力されます（V7.2以降での項目出力位置が、正しい出力位置となります）。そのため、V7.0以前で電子帳票保存した帳票をデータ変換した場合、データ変換されない項目がありますので、注意が必要です。
 - － 帳票定義体のプロパティの拡大/縮小印刷タブで、任意印刷サイズに「任意」を指定し、かつ「等方性の保証」を指定しない場合、V8.0以前では指定した横幅、縦幅が逆転して電子帳票保存されますが、V9.0以降では、正しく保存されます。
11. V10.0.0B以前では、矩形混在項目または矩形英数字項目で、文字列が出力できる桁数分の空きがあっても次の行に送られて出力される場合がありますでしたが、V10.0.0C以降では、正しく前の行に出力されるようになります。
12. 以下のフォントに対して文字を登録し、このフォントをList Creator のPDFフォント登録機能で登録しPDFファイルに出力した場合、V10.0.0B以前では登録した文字が「・」などで出力されていましたが、V10.0.0C以降では、登録した文字で出力されるようになります。
 - － FUJ明朝体
 - － FUJゴシック体
 - － @FUJ明朝体
 - － @FUJゴシック体

2.2 旧版数OS製品からの移行時の注意事項

ここでは、旧版数OS製品からの移行した際の注意事項について記載します。

1. Windows® 95/Windows® 98/Windows® Meでは定義体サイズで改ページする場合は、プリンタドライバがサポートするユーザー定義サイズで指定しましたが、Windows® 2000以降では、プリンタのサーバのプロパティで定義体サイズと同じ大きさの用紙を作成して出力する必要があります。
2. Windows Vista®以降では、JIS X0213:2004に準拠した字形で出力されます。JISGLYPH(字形のJIS年式指定)でJIS X0208:1990に準拠した字形で出力できます。

2.3 Itanium版での注意事項

Windows Server® 2003(Itanium)およびWindows Server® 2008(Itanium)では、以下の機能は未サポートです。

- ・ 文字コード
文字コードとして、EBCDICおよびJEFは使用できません。使用した場合は、MEFD_RC_OPMDA(44)のエラーとなります。

また、関連する以下のキーワードは無効となります。

JEFEXTN (JEF拡張漢字サポートの有無)
EUCGAJI (外字複写元位置)
JISTYPE (JIS年式指定)
ASPECCONV (ASP互換用コード変換ルーチン使用指定)

- 画面機能

画面機能はすべて使用することができません。使用した場合は、MEFD_RC_OPEN(10)エラーとなります。

- 印刷機能

- DDOVL (機種依存オーバーレイ使用指定)は使用することができません。指定した場合は、MEFP_DDOVLLD(9E)のエラーとなります。

- 画像ファイルの印刷 (OLEの印刷)

画像ファイルの印刷を行う場合、OLEは印刷できません。OLEの印刷を行った場合は、MEFD_RC_OLELOAD(9A)のエラーとなります。

- 多目的プリンタ機能

多目的プリンタ機能は使用できません。使用した場合は、MEFP_RC_IMLOAD(9B)のエラーとなります。

また、関連するプリンタ情報ファイルの以下のキーワードは無効となります。

PRTACS (印刷形態)
UPSIZE (上端寸法)
UNLOAD (排出口指定)

- 帳票の電子化

帳票の電子化は行えません。使用した場合は、MEFP_RC_STREAMLOAD(9H)のエラーとなります。

また、関連するプリンタ情報ファイルの以下のキーワードは無効となります。

STREAM (ストリーム種別指定)
STREAMENV (管理情報ファイル名指定)
STREAMFILE (ストリーム出力ファイル名指定)

- XML入出力処理

XMLでの入出力は行えません。使用した場合は、MEFP_RC_STREAMLOAD(9H)のエラーとなります。

また、関連するプリンタ情報ファイルの以下のキーワードは無効となります。

STREAM (ストリーム種別指定)
STREAMFILE (ストリーム出力ファイル名指定)

- 他システムとの連携

- MeFt/NETとの連携は行えません。

- MeFt/Webとの連携は行えません。

- リモート表示ファイルサービスとの連携は行えません。

- プログラムインタフェース

- Visual Basic

- プログラムインタフェースとしてVisual Basicは利用できません。

- アプリケーションの起動(ps_exec)

- アプリケーションの起動(ps_exec)インタフェースは利用できません。

第3章 プログラム修正一覧

本ソフトウェアでは、旧版数で発生した障害が修正されています。

この章では、本版数で修正された内容および修正番号を説明しています。

3.1 画面機能

項番	障害発生範囲	修正番号	現象
1	V9.0L10～	PG59351	以下の条件の時、当該項目のカーソルが位置づいてしまいます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 項目制御部を共用する(3バイト)画面定義体を使用する。かつ、 2. 項目の強調属性(項目制御部の2バイト目)に"V"(点滅ありおよび反転あり)を指定して出力を行う。かつ、 3. 入力時に項目のカーソル設定属性(項目制御部の2バイト目)に"V"を残したまま入力を行った場合。
2	V1.1L10～	PG59505	以下の条件の時、小数部のみの数字項目にデータ出力後、非消去入力を行い、内容を変更せずに入力完了しようとするとう入力エラーとなります。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 小数部のみの数字項目である。かつ、 2. データを出力する。かつ、 3. 非消去入力を行う。かつ、 4. 2.で出力したデータを変更せずに、そのまま入力データとして入力完了しようとした場合。
3	V1.1L10～	PG60285	以下の条件の時、タイトルバー無しで、かつ、ウィンドウサイズをデフォルトサイズとした場合、タイトルバーが表示され、ウィンドウサイズを変更するとタイトルバーが消えます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. タイトルバー無しを指定する。かつ、 2. ウィンドウサイズの指定を省略する。かつ、 3. ウィンドウをオープンする。かつ、 4. ウィンドウサイズを変更する操作を行った場合。
4	6.0～(*1)	PG63410	[現象] 以下の条件に示す帳票定義体を使用した場合、MeFtの印刷機能が異常終了します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. FORMを起動して、帳票定義体を編集集中にする。かつ、 2. バーコード種別が標準物流、または拡張物流のバーコード項目を定義する。かつ、 3. レコード定義を定義する。かつ、 4. 次の計算式の結果が、256の倍数から1引いた数になるよう、項目を定義する。かつ、 <ul style="list-style-type: none"> － [画面帳票定義体プロパティの項目制御部がなしの場合] 項目長の総和 － レコード定義の末尾の項目の項目長 － [画面帳票定義体プロパティの項目制御部が共有する場合] 項目長の総和 － レコード定義の末尾の項目の項目長 + (項目数 × 3)

項番	障害発生範囲	修正番号	現象
			<p>ー [画面帳票定義体プロパティの項目制御部が共有しないの場合] 項目長の総和 - レコード定義の末尾の項目の項目長 + (項目数 × 5)</p> <p>5. レコード定義の末尾に無効項目を追加する。かつ、</p> <p>6. 2.で追加したバーコード項目のプロパティでアドオンデータを有効にし、 5.で追加した無効項目をアドオンデータを保存する項目として指定する。 かつ、</p> <p>7. 定義エラーのない状態で、定義体を保存する。</p> <p>または、</p> <p>1. PowerFORMを起動して、帳票定義体を編集集中にする。かつ、</p> <p>2. バーコード種別が UPC-A (UPC バージョンA)、UPC-E (UPC バージョンE)、または EAN-13 のバーコード項目を定義する。かつ、</p> <p>3. 次の計算式の結果が、256の倍数から1引いた数になるよう、項目を定義する。かつ、 項目長の総和 - レコード定義の末尾の項目の項目長 + (項目数 × 5)</p> <p>4. 2.で定義したバーコード項目のプロパティから、アドオンデータを設定し、 レコードリストの末尾にアドオンデータのレコードのみ項目を追加する。 かつ、</p> <p>5. 定義体を保存する。</p>
5	V5.0L10～	PG71847	<p>以下の条件の時、選択したデータではなく1行目のデータが削除される場合があります。</p> <p>1. 矩形項目の場合。かつ、</p> <p>2. クリップボード連携を用いて、2行目以降を範囲選択して削除または切り取り操作を行った場合。</p>

*1:6.0は、PowerCOBOL97 のバージョン・レベルを示します。

3.2 印刷機能

項番	障害発生範囲	修正番号	現象
1	V4.0L20～(*1) V9.0L10(Itanium) ～	PG54401	<p>以下の条件の時、アプリケーションエラーとなる場合があります。</p> <p>1. プリンタ情報ファイル編集ツールを実行する。かつ、</p> <p>2. 通常使うプリンタに24バイトを超えている「給紙口名」があるプリンタドライバを指定した場合、または、</p> <p>3. 出力プリンタに24バイトを超えている「給紙口名」があるプリンタドライバを指定した場合。</p>
2	V6.0L10～(*1)	PG58111	<p>以下の条件の時、EBCDICコードの0x6dが矩形項目の改行コードとして処理されます。</p> <p>1. 利用者プログラムの文字コードがEBCDICおよびJEFであり、かつ、</p> <p>2. プリンタ情報ファイルに"ASPECCONV Y"を指定し、かつ、</p> <p>3. プリンタ情報ファイルの"LFCODE"にEBCDICコードにおける未定義文字コードを指定し、かつ、</p>

項番	障害発生範囲	修正番号	現象
			4. 矩形英数字項目または矩形混在項目に出力データとして0x6dを指定した場合。
3	V9.0L10(Itanium) ～	PG77506	<p>以下の条件の時、オーバーレイ文字の末尾が文字化けして印刷されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オーバーレイ文字が定義されたKOL6形式のオーバーレイ定義体を使用している。かつ、 2. オーバーレイ文字の末尾から2文字目に以下の文字が指定してある。かつ、 <ol style="list-style-type: none"> a. シフトJISコードで2バイト目が0x81から0x9Fの範囲である全角文字。または、 b. シフトJISコードで2バイト目が0xE0から0xFCの範囲である全角文字。 3. 2.のオーバーレイ文字の末尾に半角文字が指定してある。かつ、 4. 2.のオーバーレイ文字の文字配置に「右揃え」が指定してある場合。
4	V10.0.0～(*2) V10.0.0(Itanium) ～(*3)	PG66232	<p>[現象1]</p> <p>以下の発生条件のとき、プレビュー画面からの印刷指示で以前に出力した帳票が同時に印刷される場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. トレースログの採取を”行う”を指定する(環境変数 MEFTLOGROOTにルートフォルダの指定があり、かつMEFTLOGNUMPに0以外の指定がある)。かつ 2. 既に同一年月日に採取されたトレースログが存在する状態である。かつ 3. プレビュー指定ありの帳票出力プログラムを起動し、プレビュー画面から印刷指示を行った場合。 発生しやすいタイミングとしては <ul style="list-style-type: none"> ・リモートデスクトップで接続して帳票出力プログラムを実行した場合 ・ローカルコンピュータの再起動の後にローカルコンピュータ上で帳票出力プログラムを実行した場合 <p>[現象2]</p> <p>以下の発生条件のとき、プレビュー指定ありの帳票出力プログラム実行時に通知コード"9M"でエラー終了する場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. トレースログの採取を”行う”を指定する。かつ 2. ローカルコンピュータ上またはリモートデスクトップ上のどちらかでプレビュー指定ありの帳票出力プログラムを実行し、プレビュー画面を表示状態である。かつ 3. 他方でプレビュー指定ありの帳票出力プログラムを実行した場合。 <p>または</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. トレースログの採取を”行わない”を指定する。かつ 2. ローカルコンピュータ上およびリモートデスクトップ上でのそれぞれの実行環境において、作業用フォルダに同一パスが指定されている。かつ 3. ローカルコンピュータ上またはリモートデスクトップ上のどちらかでプレビュー画面を表示状態である。かつ 4. 他方でプレビュー指定ありの帳票出力プログラムを実行した場合。 <p>[現象3]</p> <p>以下の発生条件のとき、帳票出力プログラム実行時に通知コード"18"でエラー終了する場合があります。</p>

項番	障害発生範囲	修正番号	現象
			<p>1. トレースログの採取を”行う”を指定する。かつ</p> <p>2. ローカルコンピュータ上とリモートデスクトップ上、または接続の異なるリモートデスクトップ上で、どちらかでプレビュー指定ありの帳票出力プログラムを実行すると同時に、他方でプレビュー指定なしの帳票出力プログラムを実行した場合。</p> <p>[現象4]</p> <p>以下の発生条件のとき、プレビュー指定ありの帳票出力プログラム実行時に"The access error of C:\temp\MEFTPLOG\YYYYMMDDHEDxxxx\TRC-000.TMP"のメッセージが表示される場合があります。</p> <p>なお、"C:\temp"は環境変数 MEFTLOGROOTに指定したトレースログの格納先が出力されます。</p> <p>1. トレースログの採取を”行う”を指定する。かつ</p> <p>2. ローカルコンピュータ上とリモートデスクトップ上、または接続の異なるリモートデスクトップ上で、どちらかでプレビュー指定なし帳票出力プログラムを実行すると同時に、他方でプレビュー指定あり帳票出力プログラムを実行した場合。</p>
5	V4.0L20～(*4)	PG66728	<p>[現象1]</p> <p>以下の発生条件のとき、バーコード出力時にエラーコード「90478」が通知される場合があります。</p> <p>1. 帳票クラスインタフェースを利用する。かつ、</p> <p>2. 帳票形式が「段組み伝票形式」または、「タックシール形式」である。かつ、</p> <p>3. 以下のバーコードを定義し、帳票出力プログラムを実行した場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> － カスタマーバーコード － U.S.Postnet(Delivery Point) － U.S.Postnet(ZIP + 4 Code) － U.S.Postnet(5-Digit ZIP Code) － QR Code (モデル1) － QR Code (モデル2) <p>[現象2]</p> <p>以下の発生条件のとき、バーコードの項目抑止指定が無効となります。</p> <p>1. 帳票クラスインタフェースを利用する。かつ、</p> <p>2. 帳票形式が「ページ形式」または、「集計表形式」である。かつ、</p> <p>3. 以下のバーコードを定義する。かつ、</p> <ul style="list-style-type: none"> － カスタマーバーコード － U.S.Postnet(Delivery Point) － U.S.Postnet(ZIP + 4 Code) － U.S.Postnet(5-Digit ZIP Code) － QR Code (モデル1) － QR Code (モデル2)

項番	障害発生範囲	修正番号	現象
			4. バーコードに対して、項目抑止指定を行い、帳票出力プログラムを実行した場合。
6	V6.1L10～(*4)	PG67830	<p>[現象]</p> <p>J Business Kitの帳票クラスライブラリを使用した場合、印刷ジョブ名設定関数 set_printjobname で指定した名前がプリンタの印刷キューのドキュメント名として表示されない場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. J Business Kitの帳票ライブラリを使用した帳票出力(※1)を行う。かつ、 2. 帳票印刷開始メソッド(PrintControl)呼出し前に PrinterInformationFileNameプロパティ設定関数でプリンタ情報ファイル名を指定する。かつ、 3. 帳票印刷開始メソッド(PrintControl)呼出し後に通知される帳票開設イベントで set_printjobname プロパティ設定関数で印刷ジョブ名を指定した場合。 <p>または、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. J Business Kitの帳票ライブラリを使用した帳票出力(※1)を行う。かつ、 2. 帳票印刷開始メソッド(PrintControl)呼出し前に PrinterInformationFileNameプロパティ設定関数でプリンタ情報ファイル名を指定する。かつ、 3. 帳票印刷開始メソッド(PrintControl)呼出し前に set_printjobname プロパティ設定関数で印刷ジョブ名を指定する。かつ、 4. 2.のプリンタ情報ファイルにPRTIDキーワードが指定されていない場合 (PRTID指定時は set_printjobname の指定は無視され、PRTIDが有効となります)。 <p>※1:MeFtのCインタフェース、VBインタフェースおよびCOBOL経由の出力では発生しません。</p>
7	V6.1L21～(*4)	PG67869	<p>[現象]</p> <p>以下の条件の時、アプリケーションが異常終了する場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実行OSがWindows XPである。かつ、 2. 実行時に環境変数全体のサイズが32Kバイトを超えている。かつ、 3. MeFt の以下のいずれかの機能を利用した場合。 <ul style="list-style-type: none"> － プリンタ情報ファイル確認機能 － 印刷プレビュー機能 － 帳票機能のトレースログ出力機能(有効時)
8	V7.0L10～(*4)	PG69452	<p>[現象]</p> <p>以下の条件の時、アプリケーションエラーとなる場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PowerFORM V70L10からサポートされた帳票定義体の以下のいずれかの機能を指定する。かつ、 <ul style="list-style-type: none"> － バーコード種別としてQR Codeを指定 － ラジオボタン項目 － チェックボックス項目 － 数字項目の編集形式に「小数点を抑止する」を指定 － 項目のプロパティで「抹消線」を指定

項番	障害発生範囲	修正番号	現象
			<ul style="list-style-type: none"> 1. 帳票定義体のプロパティの「バーコード」タブで「バーコード情報を指定する」を指定 2. 組み込みメディア項目を含む。かつ、 3. 帳票クラスを使用して出力を行った場合。
9	V6.1L21～	PG66643	<p>[現象]</p> <p>以下の条件の時、プレビューまたは印刷時に項目領域長を超えて文字が出力される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. Windows XPおよびXP以降のOSの場合。かつ、 2. 項目の文字ピッチを指定していない場合。かつ、 3. 日本語のフォント種として固定ピッチフォント(「MS 明朝」など)を指定している場合。かつ、 4. プリンタ情報ファイルに"CORRECTPOS FLD"を指定している時にデータが項目領域長を超える場合、または"CORRECTPOS ALL"を指定している場合。
10	V4.0L20～	PG68586	<p>[現象]</p> <p>以下の条件の時、MeFtの印刷で帳票印刷ダイアログが表示されると、その後の日本語入力が異常となる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. MS-IMEやCharsetMGRの入力アシストを使用している画面がある場合。かつ、 2. 同一プロセスで帳票印刷を行った場合。かつ、 3. 印刷ダイアログを表示した場合 (MeFt/Webの場合は必ず表示されず) <p>なお、上記条件をすべて満たした場合でも現象が発生しないこともあります。</p>
11	V9.0L20～	PG71259	<p>[現象]</p> <p>以下の条件の時、0xFFコードがレコードに含まれているとアプリケーションエラーが発生する場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 利用者プログラムのコード系がシフトJISの場合。かつ、 2. 出力先がPDFの場合。かつ、 3. 0xFF24、0xFF34、0xFF64、0xFF74、0xFFA4、0xFFB4、0xFFE4、0xFFF4という文字コード系の範囲外のコードがレコードに含まれている場合。
12	V7.0L10～	PG68485	<p>[現象]</p> <p>以下の条件の時、「"f3bjprvw" Directory 作業フォルダ名 is not found.」のエラーメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. MeFtが使用する作業フォルダ名(※)に全角文字の下位バイトコードが0x40(シフトJIS)の文字がある場合。かつ、 2. 印刷プレビュー機能を実行した場合。 <p>※:作業フォルダ名は環境変数で指定し、以下の優先順位で決定されます。 MEFTTMP > TMP > TEMP</p>
13	V8.0L10～	PG77027	<p>[現象1]</p> <p>以下の条件の時、本来、次行に送り出されるべきでない文字列が次行に送り出されます。</p>

項番	障害発生範囲	修正番号	現象
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 矩形混在項目または矩形英数字項目のプロパティで「句読点のぶら下げ」または「行頭／行末禁則」のいずれかをONにした場合。かつ、 2. 「ワードラップ」をONにした場合。かつ、 3. 項目内のいずれかの行の末尾が空白の場合。かつ、 4. 3.の行末尾の空白の直前がASCIIコードで0x21～0x7Eの範囲の文字が2個以上連続している場合。かつ、 5. 4.の文字列の直前が空白文字の場合。かつ、 6. 5.の空白の前に空白以外の文字が存在する場合。 <p>[現象2]</p> <p>以下の条件の時、本来、複数行に分割されるべきでない文字列が分割されま す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 矩形混在項目または矩形英数字項目のプロパティで「行頭／行末禁則」をONにし「行頭および行末」または「行末のみ」を指定した場合。か つ、 2. 「ワードラップ」をONにした場合。かつ、 3. 項目内のいずれかの行でワードラップや行頭・行末禁則による追い出し が発生した場合。かつ、 4. 3.の追い出しを行ったあと、行末尾が空白となる場合。かつ、 5. 4.の直前がASCIIコードで0x21～0x7Eの範囲の行末禁則文字の場合。 かつ、 6. 5.の直前がASCIIコードで0x21～0x7Eの範囲の文字の場合。かつ、 7. 6.の文字列の直前が空白の場合。かつ、 8. 7.の空白の前に空白以外の文字が存在する場合。 <p>※:現象2については、実行時に、以下の環境変数を指定することで修正が 有効となります。</p> <p>環境変数:MEFTWRAPCONTROL 設定値:2</p> <p>例) バッチファイルで、環境変数"MEFTWRAPCONTROL"に値"2"を設定 する場合</p> <pre>set MEFTWRAPCONTROL=2</pre>
14	V7.2L10～	PG77028	<p>[現象]</p> <p>以下の条件の時、出力結果異常のPDFファイルがメールに添付されて送信さ れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. List Creator PDF変換機能の文書情報ファイルでPDFメール配信の指定 を行う。かつ、 2. PDF出力を行う。かつ、 3. プリンタ装置の制御で印刷のキャンセルを行った場合。
15	V7.2L10～	PG77029	<p>[現象]</p> <p>以下の条件の時、List CreatorのPDFフォント登録機能で登録したフォントが有 効とならず、登録しようとしたフォント上の文字が「・」などで出力される場合があ ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. List CreatorのPDFフォント登録機能で、以下のフォントを登録し、その フォントを指定した帳票を、PDFファイルに出力した場合。

項番	障害発生範囲	修正番号	現象
			<ul style="list-style-type: none"> － FUJ明朝体 － FUJゴシック体 － @FUJ明朝体 － @FUJゴシック体
16	V4.0L10～	PG69450	<p>[現象]</p> <p>以下の条件の時、稀に、通知コード18、21で印刷または印刷プレビューが失敗する場合があります。</p> <p>なお、MeFtのバージョンがV10.0.0以降の場合、イベントログに以下のいずれかの詳細コードが通知されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18-41b0-00000005-00000000 ・18-42d1-00000005-00000000 ・21-02b6-00000005-00000000 ・18-0011-00000005-00000000 <p>1. 以下の機能を利用した複数の帳票出力を同時に実行した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> － 拡大・縮小指定、またはコンパクト印刷 － 組込みメディア項目 － ラジオボタン・チェックボックス項目 － 印刷プレビュー
17	6.0～(*5)	PG63410	<p>[現象]</p> <p>以下の条件に示す帳票定義体を使用した場合、MeFtの印刷機能が異常終了します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. FORMを起動して、帳票定義体を編集集中にする。かつ、 2. バーコード種別が 標準物流、または 拡張物流 のバーコード項目を定義する。かつ、 3. レコード定義を定義する。かつ、 4. 次の計算式の結果が、256の倍数から1引いた数になるよう、項目を定義する。かつ、 <ul style="list-style-type: none"> － [画面帳票定義体プロパティの項目制御部が なし の場合] 項目長の総和 － レコード定義の末尾の項目の項目長 － [画面帳票定義体プロパティの項目制御部が 共有する の場合] 項目長の総和 － レコード定義の末尾の項目の項目長 + (項目数 × 3) － [画面帳票定義体プロパティの項目制御部が 共有しない の場合] 項目長の総和 － レコード定義の末尾の項目の項目長 + (項目数 × 5) 5. レコード定義の末尾に無効項目を追加する。かつ、 6. 2.で追加したバーコード項目のプロパティでアドオンデータを有効にし、5.で追加した無効項目をアドオンデータを保存する項目として指定する。かつ、 7. 定義エラーのない状態で、定義体を保存する。 <p>または、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PowerFORMを起動して、帳票定義体を編集集中にする。かつ、

項番	障害発生範囲	修正番号	現象
			<p>2. バーコード種別が UPC-A (UPC バージョンA)、UPC-E (UPC バージョンE)、または EAN-13 のバーコード項目を定義する。かつ、</p> <p>3. 次の計算式の結果が、256の倍数から1引いた数になるよう、項目を定義する。かつ、 項目長の総和 - レコード定義の末尾の項目の項目長 + (項目数 × 5)</p> <p>4. 2.で定義したバーコード項目のプロパティから、アドオンデータを設定し、レコードリストの末尾にアドオンデータのレコードのみ項目を追加する。かつ、</p> <p>5. 定義体を保存する。</p>

*1: MeFt V10.0.0 で修正されています。

*2: MeFt V10.0.0A で修正されています。

*3: 以下の製品については、緊急修正を適用してください。

• Windows for Itanium版 NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ V10.0.0

• Windows for Itanium版 NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ V10.0.0

*4: MeFt V10.0.0B で修正されています。

*5: 6.0は、PowerCOBOL97 のバージョン・レベルを示します。